



北海道大学と大塚製薬が共同研究を開始

～北大産学・地域協働推進機構に食品分野の研究部門を設置～

1. 概要

国立大学法人北海道大学（総長：山口佳三）と大塚製薬株式会社（本社：東京都，代表取締役社長：樋口 達夫）は，2017年1月1日に，北海道大学産学・地域協働推進機構に産業創出部門（食品分野の共同研究部門）を設置しました。

両者は，イコールパートナーシップ（対等な関係）のもと，それぞれが持つ独創的な研究及び製品化技術を融合し，メカニズムを含めたシーズの探索から，最終的には，超高齢化社会の課題を解決し，健康寿命の延伸に寄与する食品の製品化を目指した，組織対組織型の大型共同研究を行います。

2. 研究部門設置の目的と概要

【概要】

共同研究テーマ：

「食習慣の改善」「アクティブシニアのサポート」「食べる喜び」「女性の健康」

設置場所：フード&メディカルイノベーション(FMI)国際拠点

参画部局：農学研究院，獣医学研究科，薬学研究院

設置部局：産学・地域協働推進機構（産学推進本部）

期間：2017年1月1日より3年間

【背景】

超高齢化社会が進む中，健康の維持・増進や健康寿命の延伸など，生活者の健康課題を解決する必要性が急速に高まっています。

【共同研究のメリット】

食品素材，酪農畜産で豊富な研究材料を持つ北海道大学と，科学的根拠に基づく食品開発に強みを持つ大塚製薬株式会社 大塚栄養製品研究所の協業により，

1. 従来型共同研究では生まれにくい，異なった研究組織の協業から生み出される新規性の高い研究テーマの探索が可能。
2. 健康課題解決に寄与する新規性の高い独創的な製品の早期創出が可能。
3. 若手研究者の成長とモチベーションの向上を期待。



フード&メディカルイノベーション(FMI)
国際拠点

3. 北海道大学 産学・地域協働推進機構 産業創出部門

産業創出部門（分野，講座）※¹ は，北海道大学が企業と組織対組織型※² の大型共同研究を推進するために2014年4月から開始した制度です。北海道大学は企業とイコールパートナーシップの関係のもと，共に新産業の創出・事業化を目指し，共同研究を行います。

今回の大塚製薬株式会社との間で設置する産業創出部門は，異なる3つの部局（農学研究院，獣医学研究科，薬学研究院）が取り組む，北海道大学としては初めての本格的な異分野融合型の共同研究です。

※¹ 産業創出部門（分野，講座）について

○北海道大学が企業と行う共同研究の新しい形態を目指しています。

（設置する学内組織によって，部門，講座，分野の3つの呼称に分けられます。）

「産業創出分野」・・・ 研究院に設置の場合

「産業創出講座」・・・ 研究科に設置の場合

「産業創出部門」・・・ 附置研究所，共同教育施設に設置の場合

○従来型の共同研究が，大学の1研究者（または研究室）と企業の研究所や研究開発部門との共同研究であるのに対し，産業創出部門（分野，講座）は，大学と企業，双方のトップマネジメントがコミットしながら，イコールパートナーシップの下，両者が研究や経営のリソースを提供しながら，新産業の創出や事業化を目指します。

○設置の要件として以下の内容が含まれます。

・産業創出部門の理念を双方で共有する。

理念の内容例：組織対組織型の共同研究を実施，イコールパートナーシップの尊重，ミッションとゴールの共有。

・企業が本学の施設内に研究室を設置（2年以上の期間）し，共同研究を行う。

・企業と本学が相互に人材を提供し，アンダーワンルーフの下，協働しながら共同研究を行う。

※² 企業及び大学のトップマネジメントが関与した，両者の組織をあげた共同研究

4. 大塚製薬株式会社 大塚栄養製品研究所（所在地：滋賀県大津市）

■ 設立：2000年

■ 概要：「世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する」という企業理念のもと，人々の健康維持・増進に関わる生活の質の改善，健康寿命の延伸に役立つ科学的根拠を有する食品開発のための基礎研究と，その応用開発を行っています。特に，栄養の吸収や免疫の要である「腸」に着目し，研究を行っています。

お問い合わせ先

北海道大学産学・地域協働推進機構 地域協働部門

〒001-0021 札幌市北区北21条西11丁目 北キャンパス総合研究棟3号館2階

TEL：011-706-9480 FAX：011-706-9550 E-mail：shokuken@mcip.hokudai.ac.jp